

<メンズ育休> 12月17日

INABU BASE PROJECTで2019年に稻武に移住し、奥様とも結婚し、昨年第一子が誕生した中さんが、1年間の育児休暇を取得して復帰してくれました。仕事のプロジェクトで大変な最中にうれしい長男が生まれ、業務から1年間離脱の際は会社も本人も不安がありましたが、会社では周りの部下が育ち会社の目標も達成しつつ、中さんが復帰の際には、それまで会社で不在だった一つ上のポジションに帰ってこれたというとても良い結果になったと感じています。

中さんと奥様、そして息子ちゃんからとても素敵なお言葉をいただきましたので、貴重な体験談として本人の許可を得て以下にシェアいたします。本当に子育てを通じて大人も成長することは会社にとってもメリットの大きい事だと再認識しました。

中拓二さん（夫）

まず1年という長い期間お休みを許してくださった職場の皆様に感謝します。1日の半分を職場で過ごし毎月残業時間オーバーで指導対象者の僕には人としての生活リズムをリセットするいい時間になりました。子どもが生まれてからは生活が一変し、毎日が学びの日々です。妻が先に職場復帰して僕と子どもが二人っきりで過ごす時間がが多くなり、昼間はワンオペ。育児に休みは無いというのは本当に「あれ？ 仕事していたほうが楽じゃないか...？」 「人と会話がしたい...」と思える時多かったです。気づけば母乳を出す以外の事はできるようになりました。苦労も多かったのですが、子どもが生まれてから1歳になるまでの期間を一緒に過ごせたのは本当に貴重で尊い時間でした。職場に復帰してから変わったことは自分の仕事の進め方の見直しです。今まで定時で終わらない分は「残業してやればいいか」と進めていたのですが、今はいかに早く帰って子どもの時間に徹することができるかを考えるようになりました。今後、育児と仕事を両立できる職場環境を率先して作っていきたいです。

中真衣さん（妻）

わたしは里帰りをしなかったため、産後すぐは体も十分ではなく、子どものお世話はもちろん、料理や掃除などの家事まで、夫がすべて代わってくれました。その手厚いサポートには、本当に感謝しています。生後0日からずっと二人で子育てをしてきたことで、育児の苦労や大変さだけでなく、喜びも共有できたことは、わたしたちにとってとても大きな経験でした。今では、お互いに何が大変なのか、次に何をするのかが、言葉にしなくとも自然とわかるようになりました。一年という長い育児休業を認めてくださった職場の方々や、

その環境に心より感謝しています。たとえ数ヶ月であっても、仕事を休むことは男性にとって簡単ではない面もあると思いますが、それ以上に得られる学びや気づきは大きいと感じています。これからパパになるすべての方に、ぜひ育児休業を取得してほしいと思います。

中豊くん（子）

バブー

（しっかり働いてしっかり稼いでいいメシ食わせろ）

→はい、しっかり会社としても稼げるようみんなで頑張ります！（横田）

